

2001年10月

プラド

トヨタ

形式110系のプラド捕獲！

ランドクルーザーのルーツは50年前、1951年に誕生した「BJ型トヨタジープ」にある。54年にランドクルーザーの名を与えられ、以来オフローダーの代表格として人気を集めてきた。そして、いま次世代モデル110系の姿が明らかになる。



[↑ zoom](#)

走行テストに備え、開発が進む次期プラドのテストカー。もちろん、マガジンXが世界で初めて公開する特ダネだ。外装パーツはまだダミーのまま。

現行モデルが2代目にあたるプラドは70系の乗用モデルとして生まれたブランドだ。SUVブームの到来をいち早く察し、それまで商用車区分がメインだったSUVに快適性を加えて開発された、いわば派生モデルから始まった。96年に登場した現行モデルはハイラックス・サーフとコンポーネンツを共有しているものの、型式には90系が使われており、しっかりとランクルの血筋を引いているのがわかる。

デビューから6年を経て、プラドは生まれ変わる時を迎える。時期は02年8月だ。高い人気を博し、「SUV界のセルシオ」と呼ばれるにまで至った100系を横目に、110系なる真新しい型式を与えられて登場する。シルエットさえわからなかったそんな3代目を、スクープカメラマンが見事に捕獲。本誌が自信たっぷりに世界で初めて次期プラドこと、ランクル110系をいま披露する。

上の写真でご覧いただいたとり、3代目プラドはまだ開発途中にある。掲載したのは試作と呼ばれるテストカーで、正式なヘッドランプやバンパーが装着される前段階にあるクルマだ。残念ながら全体像は不明瞭で、写真から姿カタチを読み取るのは非常に困難だ。そこで、スクープ班がかき集めた情報と写真を手がかりに、その姿を完全再現。下に掲載したイラストこそが、02年8月に登場する次期プラドの確定フォルムだ。



[↑ zoom](#)

次期プラドの確定フォルム。RAV4にも似たつり目ヘッドランプからフェンダーへとつながるボリューム感は、ヘビー級SUVならではの。ボディサイズは現行モデルと大差ない模様。

目立った特徴として挙げられるのは、弟分RAV4に用いられている大型ヘッドランプと、ボディにアドオンされているオーバーフェンダーだ。ヘッドランプはボンネット側とフェンダー側の両方に回り込む曲面デザインで、最近のトヨタ車のデザイントレンドを確実に踏襲している。また、ボディ本体でも1700mmを超える幅を誇るが、オーバーフェンダーが追加されることで、いちだんとボリューム感が演出されている。横開きドアからウインドウに沿って配置されるリアコンビランプも格好のアクセントとなりそうだ。

次期プラドではエンジン排気量の拡大もウワサされている。現行モデルには2・7リットル直4、3・4リットルV6、そして3リットルコモンレール式ディーゼルターボの3タイプが搭載されているが、安全性と快適性の向上により、重量アップが避けられない。そこで、いちだんと大きい2UZ-FE型4・7リットルV8を載せることも視野に入れられている。ご存じの読者も多いだろうが、このエンジンは100系に搭載されている贅沢なユニットだ。

次期プラドにこんな贅沢が許されるのには、もうひとつ理由がある。それは北米レクサス・チャンネルへの投入だ。スクープ班がつかんだ最新情報によると、次期プラドにはレクサス・ブランドで北米輸出される計画もあり、その名高いプレミアム性に恥じないための性能を確保することは必要不可欠だ。シグナス（現地名LX470）、ハリアー（同RX300）に続き、北米で好調に推移しているSUV市場にさらなるタマを送り込むのが、トヨタが練る02年SUVシェア拡大作戦の一端なのだ。

●現行プラド



[↑ zoom](#)

サブネーム「プラド」が与えられている90系。ハイラックス・サーフとコンポーネンツを共有する。



[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

テストカーにはダミーランプが代用されているが、リアコンビランプは高い位置に置かれるようだ。スペアタイヤ用のスペースも確認できる。

横開きドアや左下に設置されるナンバープレートなど、後ろ姿もRAV4に似ている。リアコンビランプは縦長タイプになるようだ。



なんじゃ、このロードスターは!?



[↑ zoom](#)

リアコンビランプに現行モデルの面影が見えるものの、ヌメツとしたボディラインやROADSTERの華麗なエンブレムは明らかに現行車とは異なる。

読者のT.Hさんが送ってくれた1枚の写真。撮影場所は横浜市の国道15号で、おもに先行開発を手がけている「マツダR&Dセンター横浜」の近くだ。「おお！ロードスター大幅チェンジか!？」と色めき立ったスクープ班だが、その後の調べでDJドラゴンがデザインしたスタディモデルであることが判明。3つのデザイン案が提示され、インターネット上で人気投票が行われた結果、この「ROADSTER-SPY」が約4万5000票を獲得して1位に輝いた。実車も製作され、T.Hさんは搬送中の「ROADSTER-SPY」に出くわした、というワケだ。みんなも出かける時はカメラを忘れずにネ！

▲[戻る](#)













